

学科・コース	電子機械	学年	第3学年	単位数	2 単位
--------	------	----	------	-----	------

1 学習内容と学習到達目標

1. 人の一生と家族・福祉・消費生活、衣食住、家庭生活と技術革新などに関する知識と技術を体験的に習得させ、生活課題を主体的に解決するとともに、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。
2. 学習した知識や技術を実生活に生かして各自の生活課題を解決し、よりよい生活を工夫する能力として定着させる。
3. 男女が協力して家庭や地域の生活を創造する能力と、実践的態度を育成する。

2 使用するおもな教材等

- | | |
|---------------|----------------------|
| (1) 使用教科書 | 実教出版 「生活デザイン」 |
| (2) 授業で配布するもの | ワークシート 学習資料プリント 実習教材 |

3 年間の学習計画等

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備 考 (特記事項、他教科等との関連)	考査 範囲等
1 学 期	3章 衣生活をつくる 2 衣服の素材を見てみよう ①衣服素材の種類 ②繊維の種類と特徴 ③衣服素材の性能 5 衣服をつくろう ①衣服の形・デザイン ②衣服製作の基本 基礎縫い ハーフパンツの製作 1 衣服の機能 3 衣生活の管理 ①生活をつくる ②衣服の手入れ 4 衣生活と資源・環境 ①衣生活と資源・環境	4 5 6 7	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服材料の種類、繊維の種類と特徴、衣服素材の性能について理解する。 ・用途に応じた素材の選択ができ、家族の衣生活を健康で快適に営むことができるようにする。基礎的な知識と技術を習得させ、 ・衣服の働きと着装の関係を理解して衣生活に関心を持つ。 ・衣服製作を通じて技術の習得をめざす。 ・衣服の機能の観点から「着装」の目的を理解する ・計画的な衣生活を送るために、衣服の選択・購入、洗濯、保管、廃棄までの流れを理解する。 ・衣生活と資源・環境とのかかわり、環境に配慮した衣生活について学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・素材によって性能や機能が違うのでその手入れにも素材が関係していることを理解させる。 ・流行とファッションについても考えさせる ・基礎縫いを実習することにより、ボタン付けや簡単なすそ上げを出来るようにしたい。 ・世界の民族衣装 	1 学 期 末 考 査
	《 課題・提出物等 》 ワークシート、レポート、課題提出、衣服製作作品提出				
	《 1学期の学習状況の評価方法 》 ・ 必要な知識を理解しているかを、学習態度や考査で見る。 ・ 衣服実習の意欲、態度、技術の習熟度、作品の出来上がり状態等を判定する。 ・ 授業態度や提出物の状況等から意欲や態度を評価する				
2 学 期	2章 子どもとかわる 1 子供を知る 2 発達のすばらしさ 3 子どもの生活 4 親になることを考えよう 5 すこやかに育つ環境	9 10	<ul style="list-style-type: none"> ・保育を学ぶ意義を学習し、自己理解も深める。 ・子どもの誕生、心身の発達特徴を知る。 ・子どもの食・衣生活を学習し、遊びの重要性を理解する。 ・健全な発達を支える親や社会の役割を理解するとともに、保育への関心を深める。 ・青年期の健康管理の重要性を理解する。 ・子育てのための国や地域の社会的支援について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の心身の発達と生活、親の役割と保育について理解させることに重点をおく ・「保健」での学習も関連づける ・ビデオや実物教材、新聞記事等を利用して理解をはかる。 ・虐待や父親の役割等にも触れる。 	2 学 期 末 考 査

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備 考 (特記事項,他教科等との関連)	考査 範囲等
2 学 期	三 編 消 費 者 と し て 自 立 す る 1章 消費行動を考える 1 社会の変化と消費生活 2 消費者の権利と責任 3 持続可能な社会環境 2章 経済的に自立する 1 経済のしくみを知る	10	・消費行動の意思決定プロセスを理解する。 ・契約、多様な販売方法や支払い方法、問題商法について理解する。また、被害にあった場合の解決方法についても理解する。	・「社会」教科とも関連づける ・ビデオや新聞記事等でさらなる理解をはかる。 ・くらしと環境問題について知識を深め行動できるようにする	2 学 期 末 考 査
		11 12	・消費者の権利と責任について学び、自主的に行動することの重要性を理解する。 ・資源・環境に配慮した生活スタイルについて考え、実行できるようにする。 ・家庭経済と国民経済の関係を理解し、家計の収支、家計管理に必要な知識を身につける。		
《 課題・提出物等 》 ホームプロジェクト、ワークシート、課題プリントなど提出					
《 2学期の学習状況の評価方法 》 ・ 必要な知識を理解しているかを、学習態度や考査でみる。 ・ 授業や実験・実習の意欲や態度、提出物等から評価する ・ 今までの学習を今後の人生にどう生かしていけるかを考える					
3 学 期	一 編 人 と か か わ っ て 生 き る 2 ライフステージと経済計画 生活設計 3章 高齢者とかかわる 1 高齢社会に生きる私たちの暮らし 2 高齢者を知る 3 豊かな高齢期を迎える仕組み 4章 社会とかかわる 1 支え合う暮らしとは 2 私たちの社会福祉 3 地域社会の一員としてのボランティア活動 *家庭科学習のまとめ	1	・生活設計と関連し、長期経済設計の必要性を学習する。 ・消費生活と環境のかかわりを理解し、環境負荷の少ない生活を目指して生活意識や生活様式を見直せるようにする。	・「社会」や「保健」との関連も図る ・高齢者が自分と無縁ではないことを自覚させ、高齢者への接し方を理解させる。 ・ビデオ教材や新聞記事等でさらなる理解を深める。	学 年 末 考 査
		2	・日本の高齢社会の現状と課題について理解を深める。 ・高齢者の心身の特徴や生活を理解する。 ・介護保険のしくみやサービスや内容、地域住民間での互助活動を理解する。 ・家庭生活を支える社会保障制度や社会福祉について理解を深める。 ・ボランティア活動について学習し、興味・関心をもてるようにする。		
《 課題・提出物等 》 レポート、ワークシート、課題プリントなど提出					
《 3学期の学習状況の評価方法 》 ・ 必要な知識を理解しているかを、学習態度や考査でみる。 ・ 授業や実験・実習の意欲や態度、提出物等から評価する					
《 年間の学習状況の評価方法 》 ・ 生徒のよい点や進歩の状況を、自己評価や生徒の相互評価、感想などから判断し、1年間でどのように成長したかを評価する ・ 家庭や地域の生活を充実向上させるために、問題解決学習をいかに実施し、生活を工夫し判断する能力が高められたかを、発表やレポートから判断する ・ 家庭や地域の生活について、意欲関心を持ち、改善しようとするかを、ホームプロジェクトの内容から判断する ・ 知識や技術を自分のものとして、獲得したかを、実技や考査等で確認する。					

鹿児島県立隼人工業高等学校